

やまがた農の匠

～令和元年度グッドハーベストコンクール県知事賞のトップ技術～

大豆の部（団体）

<p>はぎはらのうえん 高畠町 株式会社萩原農園</p>  <p>(株) 萩原農園の皆さんと生育が見事に揃った大豆畑</p>	品種 「すずかおり」
	収量 291.6kg/10a
	経営面積 24.0ha、うち大豆 10.6ha

Point こだわりの栽培技術で安定多収 & 高品質を実現！

多収技術の肝

- ・石灰資材（黒ひかり）による土づくりをしっかりと行い、側条施肥、培土期追肥等の施肥方法を工夫しながら生育量を確保している。
- ・ディスク式培土やドローン防除など、新たな技術を取り入れながら作業の効率化を図っている。
- ・調製に色彩選別機を活用するなど、より品質の高い大豆を供給することで実需者から厚い信頼を得ている。
- ・契約栽培を主とした経営を行い、実需者のオーダーに合わせ、納豆用として「すずかおり」「秘伝」を出荷している。
- ・ワイン、コーヒー等それぞれの用途に合わせた大豆菓子の開発を行い、県内や首都圏で販売している。

そばの部（個人）

鶴岡市 三浦 敬一 氏



開花期のそば

品種 「常陸秋そば」

収量 85.3kg/10a

経営面積 1.6ha、うちそば 38.2a

Point 発酵鶏糞の連用で生育量を確保！

多収技術の肝

- ・ほ場の周囲に明渠を設置するなど排水性の高いほ場の整備を行っている。
- ・発酵鶏糞ペレットを10年以上連用し、ほ場の地力維持と生育量確保を図っている。
- ・実需者が求める品種を作付けしている。
- ・地域全体で高品質なそばの生産に取り組んでいる。

そばの部（団体）

白鷹町 農事組合法人エフビージー



代表の児玉匡樹氏

収穫期を迎えたそばのほ場

品種 「でわかおり」

収量 89.6kg/10a

経営面積 24.8ha、うちそば 7.13ha

Point 排水対策と適期作業の徹底で安定多収を実現！

多収技術の肝

- ・10年以上前から水田の畑地化に取り組み、そばの排水対策を取っている。
- ・初期生育量を確保するため、常に適期作業を意識して栽培に取り組んでいる。
- ・高い品質を維持し、脱粒ロスを防ぐため、適期刈取を徹底している。

飼料用米の部（個人）

酒田市 土門 宏一 氏



登熟期の「ふくひびき」

品種 「ふくひびき」

収量 885.0kg/10a

経営面積 7.1ha、うち飼料用米 58.8a

Point 地力窒素の活用ときめ細かな管理で多収を実現！

多収技術の肝

- ・ 飼料用米と大豆の輪作を実施している。大豆作後の地力窒素を利用して施肥量を調整し生育量を確保するとともに、コスト低減を図っている。
- ・ 田畑輪換で飼料用米作付時の水田雑草を減らし、除草剤の散布は1回となっている。
- ・ きめ細かな観察と生育量に合わせた栽培管理で倒伏を防止している。
- ・ ほ場観察を欠かさずに行い、病虫害防除を最小限にすることで、コスト低減を図っている。

飼料用米の部（団体）

高畠町 株式会社ファームおそのづか



(株)ファームおそのづかの皆さん

品種 「ふくひびき」

収量 765.0kg/10a

経営面積 51.7ha、うち飼料用米 8.1ha

Point 高い直播栽培技術で省力化&多収を実現！

多収技術の肝

- ・ 長年の経験で培われた直播栽培技術で、安定多収を実現している。
- ・ 施肥を全量基肥体系とすることで省力化を図っている。
- ・ 初期生育量の確保や雑草防除のため、きめ細かな水管理を行っている。
- ・ 飼料用米の乾燥・調製作業を引き受けており、地域の飼料用米生産を支えている。